

戸建住宅用

日立バスルーム

スパジアD・Uシリーズ 取扱説明書

(ご愛用のしおり)

浴室のお手入れとお取扱について



保証書在中

大切に保管してください

日立化成工業株式会社

ご愛用者のみなさまへ

このたびは、「日立バスルーム」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。長くご愛用いただくために、ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

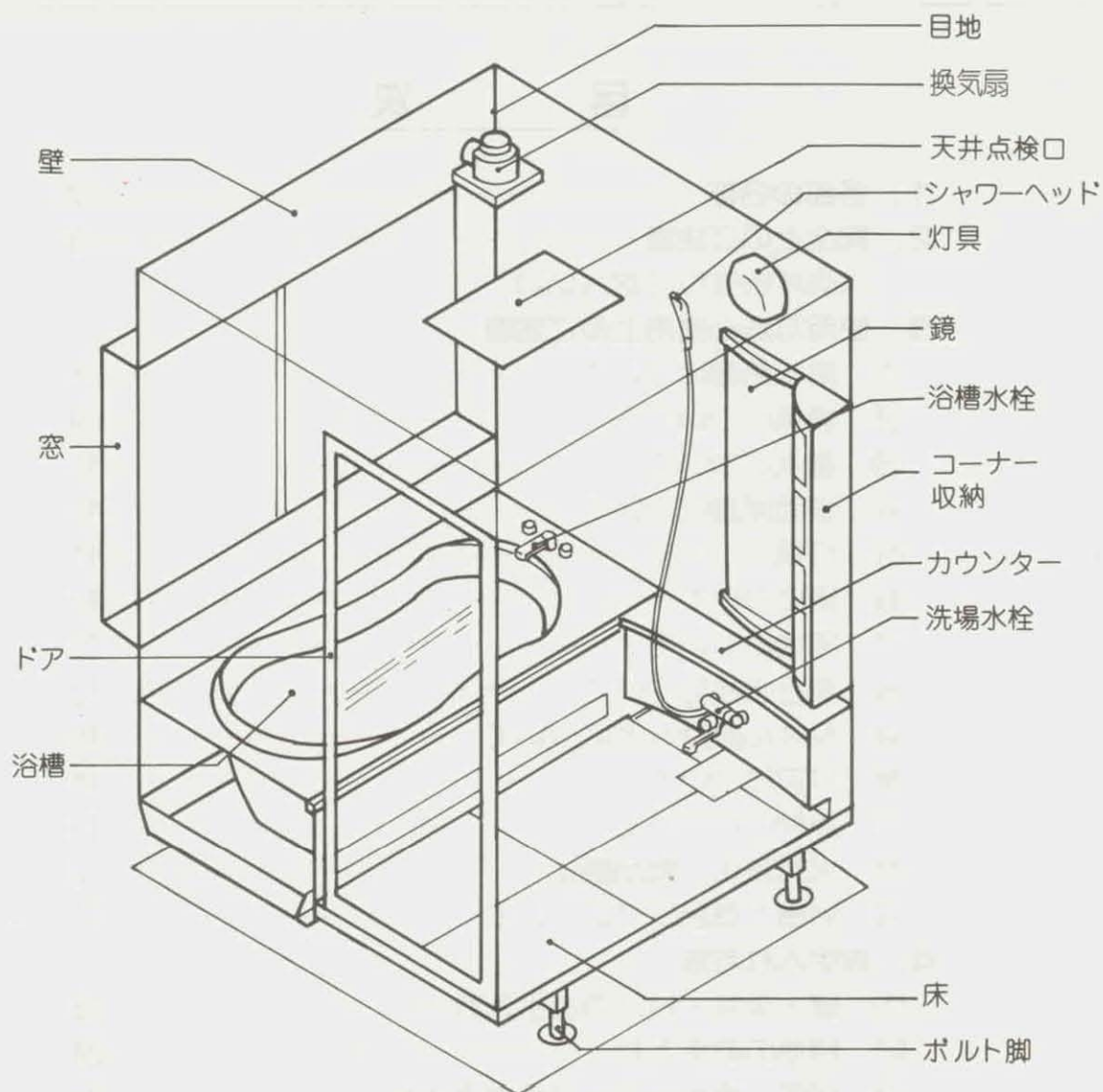
●この取扱説明書は、いつでもご覧になれるところに「保証書」とともに大切に保管しておいてください。

今後とも弊社製品を、ご愛顧いただきますようお願い申し上げます。

目 次

1. 各部の名称	2
2. 安全上のご注意	3
(必ずお守りください。)	
3. 使用方法と使用上のご注意	
(1) 給水給湯について	8
(2) 換気について	9
(3) 排水について	10
(4) 表面保護について	10
(5) 灯具について	11
(6) 鏡について	12
(7) 目地について	12
(8) 混合水栓について	12
(9) タオル掛けなどについて	15
(10) ドアについて	16
(11) 点検口について	19
(12) 火気禁止、薬品禁止	20
(13) 浴槽と風呂フタについて	21
4. お手入れ方法	
(1) 壁・天井・ドアのお手入れ	23
(2) 目地のお手入れ	24
(3) 目皿・排水トラップのお手入れ	24
(4) 床及び浴槽のお手入れ	25
(5) 水栓金具・タオル掛け等	25
(6) 混合水栓(2/バルブ水栓)のパッキン交換要領について	26
(7) 灯具の交換方法	27
(8) 浴槽下及びバランス釜循環パイプのお手入れ	28
5. アフターサービス	28

1. 各部の名称



本図は、DPD-1616で示してあります。
 タイプにより仕様が異なる所もありますので、ご了承ください。

2. 安全上のご注意

安全上のご注意（必ずお守りください）

この安全上のご注意をよくお読みの上、正しくお使いください

◎ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や家財の損害に結び付くものです。

—— 安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。——

◎表示マークについて

誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示マークで区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示	意 味
	この絵表示は気を付けていただきたい「注意喚起」の内容です。
	この絵表示はしてはいけない「禁止」の内容です。
	この絵表示は必ず実行していただきたい「強制」の内容です。
	この絵表示は「感電注意」の内容です。
	この絵表示は「接触禁止」の内容です。

—付記—

* お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保管してください。

* 転居される場合は、新しく入居される方に製品を安全にお使いいただくために、この取扱説明書を新しく入居される方、または取次ぎされる方にお渡しください。

安全上のご注意（続き）

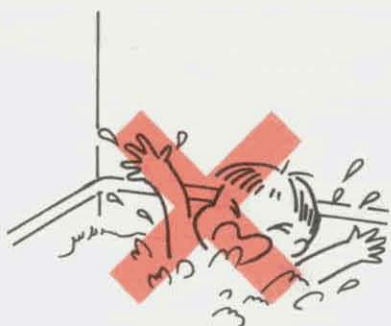
警告

入浴時の注意



禁止

- 幼児や身体の不自由な方を一人で入浴させないでください。おぼれたり、ケガやヤケドをするおそれがあります。
- 浴室内で幼児だけを遊ばせないでください。浴そうでおぼれたり、ヤケドのおそれがあります。



風呂フタについてのご注意



禁止

- 風呂フタの上には手をついたり、のつたりしないでください。フタがはずれて、ヤケドやケガをすることがあります。

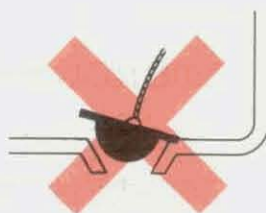


浴槽の排水栓はきちんとしめましょう



排水栓

- 排水栓をきちんと排水口に押しこんでください。風呂釜ご使用の場合水がもれますと空焚きの原因となります。



照明器具の取扱い



禁止

- グローブなしで使わないでください。感電したり、電球が割れてケガをするおそれがあります。
- 照明器具にタオルなどを掛けしないでください。過熱して、火災になるおそれがあります。



グローブなし



グローブがゆるんでいる



タオルアクセサリーを掛ける



直接水をかける

感電に注意



禁止

- 浴室内に電気製品を持ち込まないでください。感電のおそれがあります。



感電注意

安全上のご注意（続き）

警告



取説確認

- バブルバス・混合水栓・換気扇などの付帯設備は、それぞれの商品に添付されている取扱説明書、及び本体の注意表示にそってお使いください。誤った使い方をすると、思わぬ事故や故障の原因となります。

お手入れ時の注意



禁止

- 照明・換気扇のお手入れ・電球の交換等は、必ず電源を切ってから行なってください。感電やケガをするおそれがあります。

飲酒後の入浴禁止



禁止

- お酒などを飲んで入浴しないでください。



- ※ 鏡にぶつかったりして、割れたガラスの破片でケガをするおそれがあります。
- ※ 足を滑らせ、転ぶおそれがあります。
- ※ 転んだ時に、浴槽や、ドア、床などにぶつかりケガをするおそれがあります。



禁止

バブルバス

- 吸込口のカバーを外して使用しないでください。運転中に吸い込まれて、おぼれたり、ケガをするおそれがあります。

- 次の方は使用しないでください。
○ 妊産婦 ○ 心臓疾患のある方
○ 高血圧の方 ○ 泥酔者
身体に異常を起こすおそれがあります。



- 15分以上の入浴はしないでください。心臓に負担をかけるおそれがあります。

安全上のご注意（続き）

（お風呂）お風呂の安全

⚠ 注 意



禁止

- 浴槽のふちや、カウンターなどには、絶対に乗らないでください。足をすべらせて、ケガをするおそれがあります。



禁止

- 浴室内にガラス製品などの割れやすいものを持ち込まないでください。割れて、ケガをするおそれがあります。



禁止

- タオル掛けなどにぶらさがったり、強く引っ張ったりしないでください。転倒などにより、ケガをするおそれがあります。



湯温確認

- 入浴前に必ず湯温を確認してください。ヤケドをするおそれがあります。



禁止

- ドアの急激な開閉はしないでください。（ドアは静かに開閉してください。）手や足をはさまれて、ケガをするおそれがあります。



転倒注意

- 電球の交換や換気扇の掃除をする時は、必ず安定した踏み台をお使いください。バランスをくずして転倒し、ケガをするおそれがあります。



転倒注意

- 浴室は、石けん液などですべりやすくなっていますから、気をつけてください。ころんで、ケガをするおそれがあります。



接触禁止

- 出湯時や止水直後は、水栓の金属部にふれないでください。ヤケドをするおそれがあります。



洗剤確認

- 掃除をする時は、必ず浴室用中性洗剤を容器に表示されている注意書きにしたがい、正しくお使いください。使い方を誤ると人体に影響が出たり、床・浴槽・壁等に不具合を生じるおそれがあります。



湯温注意

- 水栓やシャワーは、必ず湯温を確かめてお使いください。高温の湯が出て、ヤケドをするおそれがあります。



禁止

- サーモ付き混合水栓以外でシャワーをお使いの時は、他の水栓を使わないでください。湯温が急上昇してヤケドをするおそれがあります。

安全上のご注意（続き）

⚠ 注 意



禁止

- 天井点検口のフタは設備点検時以外は、絶対にあけないでください。フタが外れ、落下してケガをしたり、湯気がもれて建物に影響をあたえるおそれがあります。



禁止

- 洗場点検口は、設備点検時以外、絶対にあけないでください。水もれのおそれがあります。



禁止

- 目地（コーキング）が切れたり、浮いたまま使用しないでください。水もれのおそれがあります。



風呂フタ

- 風呂フタは、必ず浴槽に合ったものをお使いください。フタが外れたりして、ケガやヤケドをするおそれがあります。



禁止

- 排水口にシンナー等の溶剤や、薬品類を流さないでください。水もれのおそれがあります。



禁止

- イオウ分の入った入浴剤は使用しないでください。配管部などをいため、水もれのおそれがあります。



禁止

- 浴槽に無理な力をかけないでください。ヒビが入って、水がもれるおそれがあります。



禁止

- 浴槽排水クサリ止め金具を無理に回したりしないでください。取付部がゆるむと、水もれします。



水抜き

- 〈寒冷地用水栓〉
- 凍結が予想される時は、水抜きをしてください。凍結破損で水もれをし、家財などをぬらすおそれがあります。



部品取付

- 商品引き渡し後、器具の位置を変えたり、新しく取付ける場合は、必ず販売店などにご相談ください。誤った取付をすると、思わぬ事故や水もれの原因となります。

3. 使用方法と使用上のご注意

(1) 給水給湯について

入浴される前に浴槽への給水や給湯には次のことにご注意ください。

浴槽の排水栓はきちんと
しめましょう



警告



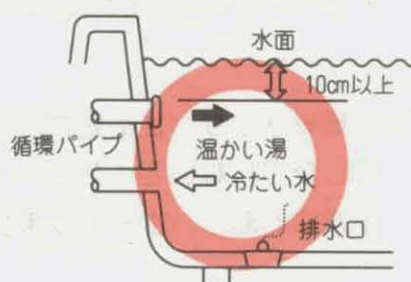
排水栓

排水栓を手できちんと排水口に押し込んでください。自然循環式風呂釜をご使用の場合、空焚きとなり、火災のおそれがあります。



浴槽の水位にご注意ください。風呂釜ご使用の場合

- 風呂釜ご使用の場合は上段の循環口の最上端より10cm以上のところまで水を入れてください。万一浴槽の水位が上段循環口以下のときは、空焚きの原因となりますのでご注意ください。



ドアはきちんとしめましょう

- 給湯する場合は浴室のドアは必ず締めてください。ドアを開けたままにしておくと浴室外に蒸気がもれて他の部屋に悪影響を及ぼします。

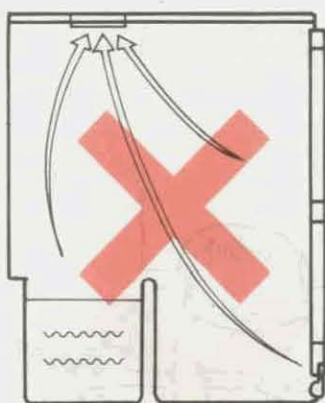
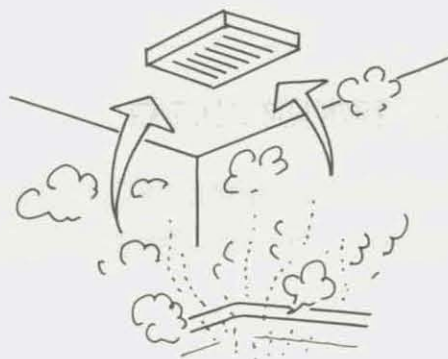


使用方法と使用上のご注意（続き）

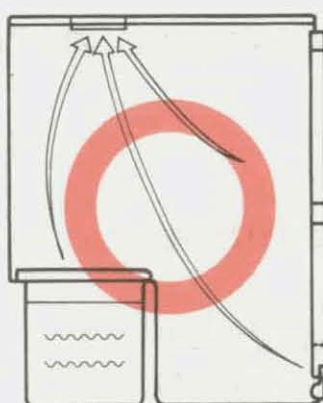
(2) 換気について

浴室内を蒸気のこもったまま放置しておきますと、悪臭やカビなどの発生原因となります。また、浴室内のいたみが早くなることもありますので、換気・乾燥を心がけてください。

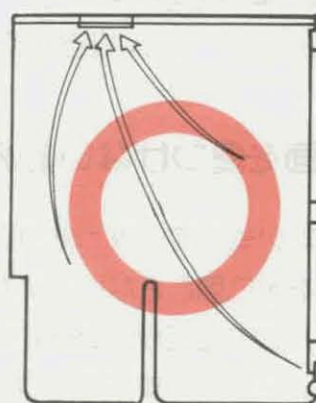
- 換気扇付きの場合、入浴後、換気扇を30分以上回してください。
- 入浴後は必ず風呂フタをしてください。
- 窓がある場合、窓をあけて換気を心がけてください。



浴槽のフタをしないで行う



浴槽のフタをして行う



使用方法と使用上のご注意（続き）

(3) 排水について

洗い場の排水口には、臭気止め機構（トラップ）がついておりますので次のことにご注意ください。

トラップは常に正常に

- 目皿を取りはずした状態でのご使用はお避けください。毛髪やゴミなどの詰まりの原因となります。

溶剤・薬品等を流さないように



注意



禁止

排水口にシンナー等の溶剤や薬品を流さないでください。水もれのおそれがあります。

トラップ封水切れの注意

- 長期間留守にする場合蒸発等により封水切れで悪臭の発生する場合がありますのでご注意ください。万一臭気が発生した場合は、換気をし、排水トラップに水を流して下さい。

(4) 表面保護について

衛生的で、美しい浴室ユニットを保つために、次のことにご注意ください。

床面を傷つけないために

- かたいものでこすったり、重くてかたいものを床に落とさないでください。
- タバコなどの火気を近づけないでください。これらはすべて傷つき・ヒビ割れの原因となります。
- またヘアピン・カミソリの刃などを床に置くとサビが付着してとれなくなることがあります。



使用方法と使用上のご注意（続き）

壁・天井・ドア面を傷つけないために



禁止

- かたいものでこすったり、たたいたりしますと傷つき破損するおそれがありますのでご注意ください。
- また壁・天井への穴あけ・釘打ちなどは絶対にしないでください。



壁面を変色させないために

- 壁面（塩ビ鋼板の場合）に吸盤付の石ケン受けなどを取付けますと、吸盤が壁面を変色させることがあります。吸盤が直接壁面に触れないように注意してください。

(5) 灯具について

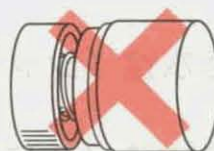


禁止

グローブは確実にしめましょう

- グローブ（灯具）をはずしたり、ゆるんでいる状態で使用しないでください。感電したり、電球が割れてケガをするおそれがあります。

グローブがゆるんでいる



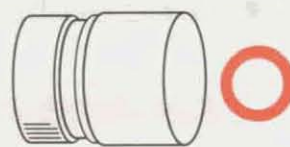
水かけは禁物

- グローブに直接水がかからないようにご注意ください。
- 照明器具には、タオル等のものを掛けしないでください。過熱して、火災になるおそれがあります。

グローブなし

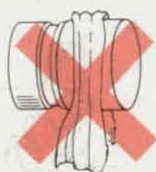


正常



台座

グローブ



タオル
アクセサリを掛ける



直接水を
かける

使用方法と使用上のご注意（続き）

(6) 鏡について



禁止

- 鏡に物をぶつけたり、たたいたりしないでください。鏡が割れるおそれがあります。
- 浴室内の湯気によりくもる場合は、石ケン水を含んだタオルで鏡の表面を拭いてご使用ください。

(7) 目地について（防水上たいせつな目地材）



目地注意

- 目地材は水もれを防ぐために大変重要なものです。いためたり、取りはずしたりしないでください。
- 入浴後、目地にカビなどが生えないよう換気してください。



注意



禁止

床・壁・天井の継目部分の目地材（コーキング）を傷つけたり、切ったりしないでください。水もれのおそれがあります。

(8) 混合水栓（シャワー付）について

混合水栓（2バルブ・シャワー付）の場合

混合水栓は水側から出しましょう



湯温注意

- お湯から先に出しますといきなり熱湯が出たりして危険です。必ず水から出し次にお湯を出しながら湯温を調節してください。
- とめるときはお湯を先にとめてください。

つまみの色の表示で湯・水を区別してください

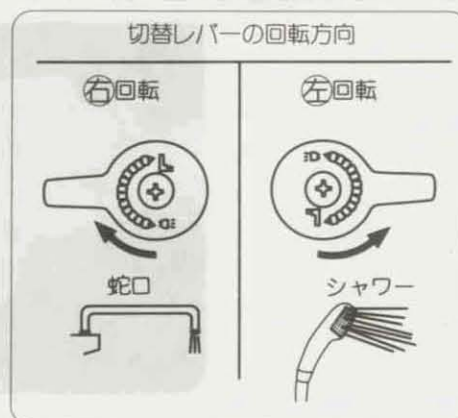
赤い表示のつまみ（向かって左側）→給湯用
青い表示のつまみ（向かって右側）→給水用



使用方法と使用上のご注意（続き）

湯温を調整する場合

- ①まず中央にある切替レバーを蛇口側にし、給湯つまみを回して蛇口（吐水パイプ）より水を出します。
- ②次に給湯つまみを徐々に回して適温に調整してください。



混合水栓の種類によっては切替レバーの形状が異なる場合があります。

湯をとめる場合



湯温注意

- ①給湯つまみから回して湯をとめます。
- ②次に給湯つまみを回して水を止めてください。このとき切替レバーが蛇口（吐水パイプ）側になっているかご確認ください。

シャワーご使用の場合



湯温注意

- ①まず蛇口（吐水パイプ）のところで湯温調整をしてください。
- ②次に切替レバーをシャワー側に回転してください。
- ③シャワーヘッドよりお湯が出てきますので湯加減を確認後シャワーを使用してください。

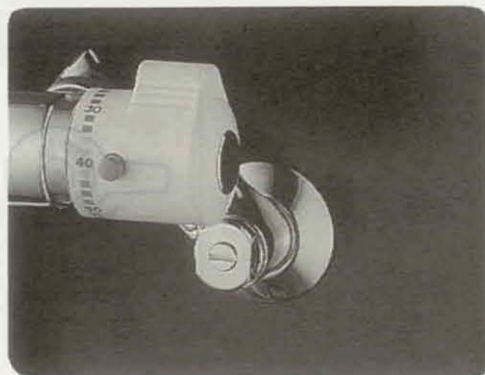


禁止

サーモ付混合水栓以外でシャワーをお使いの時は、他の水栓を使わないでください。湯温が急上昇してヤケドをするおそれがあります。

使用方法と使用上のご注意（続き）

サーモ付混合水栓（シャワー付）の場合



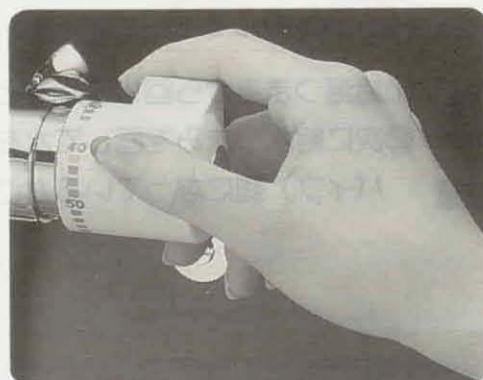
温度調節
ハンドル

（KF112Nの場合）

温度調節ハンドルの操作方法

(1)ご希望の給湯温度目盛を本体ストッパリングの温度調整ポイント（赤マーク）に合わせてから吐水ハンドルを廻してください。

(2)42℃以上の給湯をご希望の場合はハンドル部の赤いボタン（安全ロックボタン）を押して廻してください。



吐水切換レバーハンドルの操作方法

(1)混合水栓用
吐水切換ハンドルで吐水・止水・流量調整ができます。

(2)シャワー用

吐水切換ハンドルで蛇口（吐水パイプ）・止水・シャワー切換・流量調節ができます。中心で止水、右へ廻すと蛇口（吐水パイプ）、左へ廻すとシャワー・吐水になります。



（詳細は付属の取り扱い説明書をごらんください）

使用方法と使用上のご注意（続き）

シャワー使用後は切替レバーを蛇口(吐水パイプ)側にしておきましょう



湯温注意

- 切替レバーをシャワー側にしておきますと、思わぬ時に水を頭からかぶることがあります。
- シャワー側にしたままでお湯から先に出しますと、熱湯を頭からかぶりやけどをする危険があります。



混合水栓の蛇口はゆるやかに横に動かしましょう

- 蛇口を上下に動かしたりしますと水もれの原因となります。

混合水栓の上にのらないでください



禁止

- 水栓の蛇口(吐水パイプ)にのらないでください。水栓の上に足をかけたり、お子様がぶらさがったりすると危険です。
- 水栓の本体や吐水パイプの金属部分を触らないようにしてください。給湯中でなくても熱くなっていることがあります。



寒冷地用水栓ご使用の場合



水抜き注意

配管の凍結が予想される場合は、水栓の水ぬきを必ず行ってください。



(9) タオル掛けなどについて



注意



禁止

タオル掛け、カーテン、カーテンバー、握りバー、ランドリーパイプなどにぶらさがったり、強く引っ張ったりしないでください。転倒などにより、ケガをするおそれがあります。



使用方法と使用上のご注意（続き）

(10) ドアについて

ドアの開閉は静かに

⚠ 注意



ドアの急激な開閉はしないでください。

（ドアは静かに開閉してください。）

禁止

手や足をはさまれて、ケガをするおそれがあります。

ドアロックや引手にお子様がぶらさがらないようご注意ください。

ドアガラリに直接水をかけないようにしてください

ドアロックは水をきります

- ドアロックに水をかけたりしますとサビの原因となり、ロックの開閉がきかなくなる場合がありますのでご注意ください。

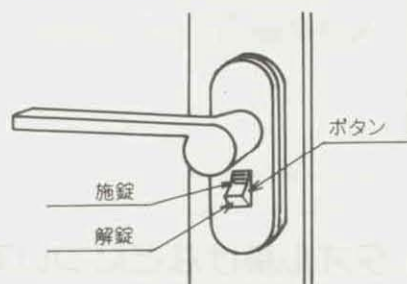
ドアロックについて（高級枠ドア、レバーハンドルに関して）

ロックは次の要領で施錠、解錠することができます。

ボタン式の場合

浴室に入りロックする場合

- ボタンの上を押してください。施錠できます。



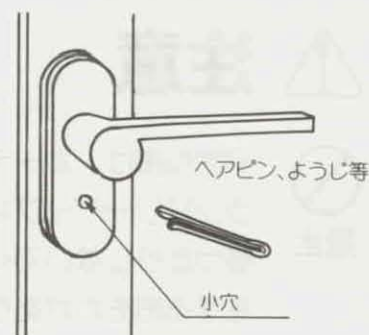
〈浴室内〉

ロックした浴室からでる場合

- ボタンの下を押してください。ロックは解除されます。

浴室外よりロックを解除する場合

- ハンドル下の小穴に細い棒（ヘアピンなど）を差し込んで押すと解錠できます。



〈浴室外〉

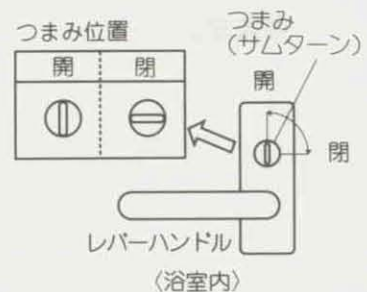
使用方法と使用上のご注意（続き）

つまみ(サムターン式)の場合

次の要領で施錠、解錠することができます。

浴室に入り錠をかける場合

- レバーハンドル上のつまみ（サムターン）を90°回してください。



錠をかけた浴室からでる場合

- レバーハンドル上のつまみ（サムターン）を、もとにもどして下さい。
レバーハンドルを下げますとロックは解除されます。

錠をかけてある浴室に入る場合

- つまみの溝にコイン等を押し当てて回しますと、ロックが解除され、ドアを開くことができます。



押ボタン式の場合

ドアロックは次の要領で施錠、解錠することができます。

浴室に入り錠をかける場合

- ドアを閉めてからボタンを押してください。



錠をかけた浴室から出る場合

- 握玉を回しますとドアは開きます。

錠をかけてある浴室に入る場合

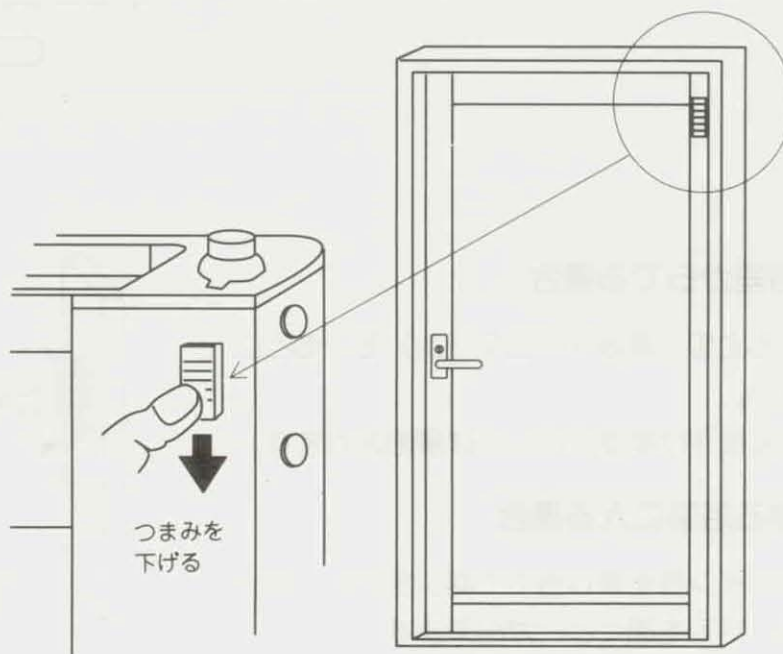
- 握玉中央の溝にコイン等を押し当てて回しますとドアは開きます。



使用方法と使用上のご注意（続き）

非常時の場合（高級框ドア仕様）

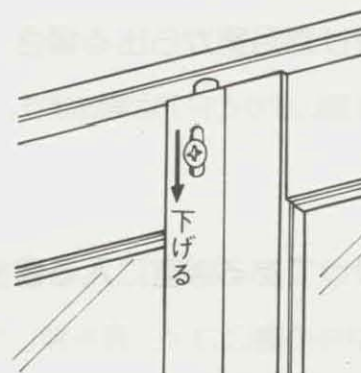
- 非常時の場合、ドア上コーナー部のレバーを下げれば、ドアをとりはずすことができます。



折戸の場合

ドアが固くなった場合

- ドアが固くなった場合、ドア中央部上の取付けビスをゆるめてラッチを下げてください。



使用方法と使用上のご注意（続き）

緊急救出口について

（高齢者対応型BL品のみ）

緊急救出口がついている折戸は緊急時で、浴室に入れない場合には、図のように浴室外から折戸の面材1枚を取りはずすことができます。

（化粧ネジ2本をはずす）

（ご注意）

- 日常ご使用の際は面材をはずさないでください。



(1) 点検口について

天井の点検口は配線・ダクト・換気扇の点検、洗い場点検口は配管の点検などに使用します。

点検の際に注意していただきたいこと

- 点検の際は、付属品の上や天井の上にのったり、天井にぶらさがったりしないでください。
- 脚立をご使用の際は、床面を保護して作業は安定な姿勢で行ってください。

点検後は点検口をもと通りに正しく

- 点検が終わった後は、点検口をもとの位置に正しく取付けてください。
- 洗場点検口は防水上重要な場所であり、点検後は周囲のスキ間のない様にしっかり締めてください。

使用方法と使用上のご注意（続き）

注意



禁止

天井点検口のフタは設備点検時以外は、絶対にあけないでください。フタが外れ、落下してケガをしたり、湯気がもれて建物に影響をあたえるおそれがあります。



禁止

洗場の点検口は設備点検時以外は、絶対にあけないでください。水もれのおそれがあります。

(12) 火気禁止・薬品禁止

火気禁止



禁止

- 浴室内でタバコを吸ったり、その他火気（コンロ・ストーブ等）を使用しないでください。火災やコゲ等の原因になります。



禁止

薬品の使用禁止

- 中性洗剤以外のフレンザー、みがき粉、シンナー、ベンジン、塩酸及び塩酸を含む洗剤、現像液、カビ取り剤などの薬品は使用したり、流したりしないでください。これらを使いますと、傷・ハガレの原因となり部品の腐食・サビなどの事故を起こすことがあります。
- なお、イオン系中性洗剤、毛染液、染料は変色しますのでご注意ください。



硫黄系入浴剤の使用禁止



入浴剤
注意

- 「湯の花」、「610/ハップ」など硫黄系の入浴剤は使用しないでください。浴槽などのFRPおよび水栓などの金物を変色させるおそれがあります。



使用方法と使用上のご注意（続き）

(13) 浴槽と風呂フタについて

浴槽

- 浴槽に硬いものをぶつけないでください。硬いものや、先のとがったものをあてますと表面に傷がついたり、ヒビ割れの生じる事があります。
- 冷えきった浴槽には、直接熱湯（80℃以上）を入れないでください。表面が変色したりいたむ原因となります。

⚠ 注意



浴槽に無理な力をかけないでください。ヒビが入って、水がもれるおそれがあります。



イオウ分の入った入浴剤は使用しないでください。配管部などをいため、水もれのおそれがあります。



浴槽のふちや、カウンターなどには、絶対に乗らないでください。足をすべらせて、ケガをするおそれがあります。



浴槽排水クサリ止め金具を無理に回したりしないでください。取付部がゆるむと、水もれします。



入浴前に、必ず湯温を確認してください。ヤケドをするおそれがあります。

バブルバス

詳細についてはバブルバスの取扱説明書をご覧ください



警告



次の方は使用しないでください。
○ 妊産婦 ○ 心臓疾患のある方
○ 高血圧の方 ○ 泥酔者
身体に異常を起こすおそれがあります。



吸込口のカバーを外して使用しないでください。運転中に吸い込まれて、おぼれたり、髪の毛を巻き込む等ケガをするおそれがあります。



注意



15分以上の入浴はしないでください。心臓に負担をかけるおそれがあります。

使用方法と使用上のご注意（続き）

風呂フタ

- 浴槽にお湯を入れて放置しておく場合は、必ず浴槽にフタをしておいてください。

警告



禁止

風呂フタの上に体重をかけたり、乗ったりしないでください。フタが外れたりして、ケガやヤケドをするおそれがあります。



注意



風呂フタ

風呂フタは、必ず浴槽に合ったものをお使いください。フタが外れたりして、ケガやヤケドをするおそれがあります。

風呂フタをご購入の際は、販売店もしくは日立化成工業㈱の営業所またはサービス代理店までご連絡ください。

24時間浴槽

- 24時間浴槽を継続してご使用になりますと、浴槽表面の退色を著しく促進したり、いたみの原因になりますので、ご使用をさけてください。

転倒に注意

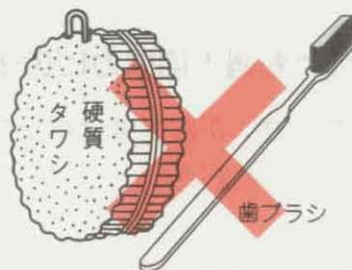
- 浴室内はすべりやすいところです。特にお年寄りやお子様が入浴される時は十分ご注意ください。

4. お手入れ方法

長くご愛用いただくために日頃のお手入れをしてください。

お手入れに必要な用具

- 乾いたやわらかい布またはスポンジ
- 中性洗剤（バスフリーナー）
- （ご注意）
- 硬質タワシなどは使用しないでください。浴室内面が傷つくことがあります。



使ってはいけない薬品など

- 傷・ハガレの原因となり部品の腐食・サビなどを起こします。絶対にお使いにならないでください。



(1) 壁・天井・ドアのお手入れ

少なくとも週1回

- やわらかい布、またはスポンジに市販の中性洗剤をつけて、少なくとも週1回は水分、湯アカ・ホコリを拭き取ってください。

汚れが落ちにくいときは

- 消毒用アルコール・リグロインなどをやわらかい布につけて拭き取ってください。

お手入れ方法（続き）

(2) 目地のお手入れ

床・壁・天井の継目部分にはめ込まれている目地材（タイル目地やコーキング）には、ゴミやアカがつきやすく、カビが発生することがあります。

少なくとも週1回はカビの予防を

- やわらかい布またはスポンジに中性洗剤をつけて、少なくとも週1回は目地部の汚れを拭きとってください。

お手入れの際注意していただきたいこと

- 目地材は防水性能上大切な役割をはたしております。取りはずしたり、傷つけたりしないようご注意ください。

（ご注意）

- お手入れするときは、歯ブラシ、タワシなどは使用しないでください。目地材をいため、水もれの原因となることがあります。

（万一、損傷等した場合は、デパート・スーパー等で内容をご説明のうえ、シリコーン系シーリング剤をお買い求めいただきお使い下さい。）

(3) 目皿・排水トラップのお手入れ

排水トラップは臭気止めの効果をはたす重要な部品です。

排水トラップは常に清潔に

- トラップ内に毛髪やゴミが詰まりますと、排水能力が低下し不衛生になるばかりでなく、床面に水があふれたり水もれの原因になります。週に1回は清掃してください。
- 万一詰まった場合はすぐに取り除いてください。

掃除が終わったら

- 1) 目皿を正しく取付けて下さい。
- 2) 封水を保つため、必ずバケツ1パイの水を流して下さい。

お掃除の手順

- 1) 上目皿をはずします。
- 2) 目皿を回して排水トラップからはずします。
- 3) 排水トラップの中の毛髪やゴミを取り除きます。



お手入れ方法（続き）

(4) 床及び浴槽のお手入れ

湯アカや石けんカスはその日のうちにお掃除を

- 湯アカは乾いてからでは落ちにくくなります。
- ご入浴後排水するときに、やわらかい布またはスポンジで床や浴槽をかるく水洗いしてください。
- 中性洗剤をお使いになれば、さらに美しくなります。



汚れが落ちにくいときは

- 消毒用アルコールやリグロインをやわらかい布にしみこませて拭き取ってください。

(5) 水栓金具・タオル掛け等金属部のお手入れ

やわらかい布で磨くことが何よりのお手入れ方法です。

美しい光沢を保つために

- 年に二回程度、ワックス等を浸した布で拭いていただきますと美しい光沢を保てます。

お手入れ方法（続き）

油類が付着したときは

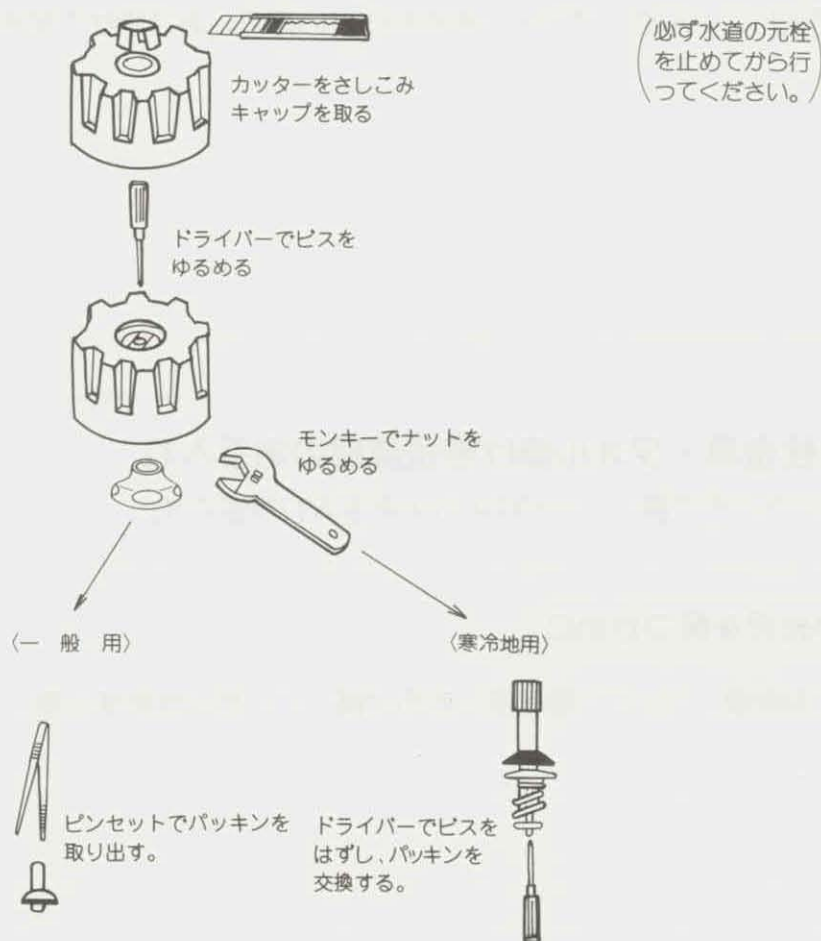
- 石けん液や中性洗剤で洗い落としてください。この後、乾いた布で水気を取ってください。

注意

-  掃除をする時は、必ず浴室用中性洗剤を容器に表示されている注意書きにしたがい、正しくお使いください。使い方を誤ると、人体に影響が出たり、床・浴槽・洗剤注意
壁等に不具合を生じるおそれがあります。

(6) 混合水栓（2バルブ水栓）のパッキン交換要領について

- 混合水栓（自在水栓）のパッキンの交換は次のように行ってください。



- パッキンは有名デパート・スーパーの日曜大工コーナーや有名金物店にて販売しています。交換のむずかしい時は最寄の水道工事店さんにお問い合わせ願います。

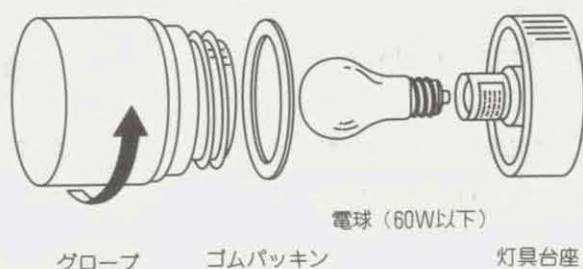
お手入れ方法（続き）

（お風呂）お風呂用照明

（7）灯具の交換方法

電源スイッチを入れても浴室灯がつかないときは、電球が切れていることが考えられます。次の手順で交換してください。

- ①電源スイッチを切ってください。（OFFにする）
- ②グローブを左に回してはずしてください。
- ③電球（60W以下）を取り替えてください。
- ④ゴムパッキンを忘れずに入れてからグローブを右に回して取り付けてください。



交換時の注意

- 電源スイッチは必ず切ってから作業をしてください。
- 電球表面温度が下がったのを確認してから作業をしてください。
- ぬれた手で交換作業は危険です。
- 電球はセットされているワット数(W)のものと**同じものをお求めください。**
（60W以下）
セットされているワット数より大きいものをご使用になりますとグローブが過熱し事故につながります。
- ゴムパッキンはグローブ内に湯気を入れない役目をしております。忘れずに入れてください。また、はみだしたり、ねじれたりしないようお確かめください。



警告



照明・換気扇のお手入れの場合は、必ず電源を切ってから作業をしてください。感電やケガをするおそれがあります。



注意



電球の交換や換気扇の掃除をする時は、必ず安定した踏み台をお使いください。バランスをくずして転倒し、ケガをするおそれがあります。

お手入れ方法（続き）

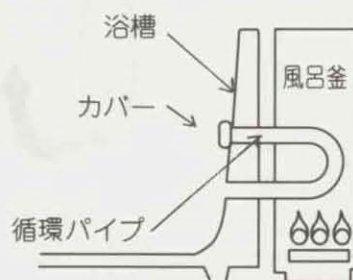
(8) 浴槽下及びバランス釜循環パイプのお手入れ

浴槽下も週1回のお手入れを（フルパネルタイプの場合）

- 浴槽の下にホース等で放水して掃除してください。

循環パイプの中についた湯アカもとりましょう

- ① 循環パイプの上部のカバーを取りはずします。
- ② ホース等を循環パイプの中にさしこみ勢いよく放水して湯アカをとり除いてください。



5. アフターサービスについて

- 保証期間内および保証期間経過後の修理につきましても、お買い求めの販売店または営業所にご相談ください。
- このバスルームには保証書がついています。
- 保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますので、記載内容をご確認いただき大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げの日から2年間です。（ただし、水栓、シャワーなどの取付器具類およびメジ、コーキング部などについては1年間とします）
- 保証期間中でも有料になることがありますので、ご了承ください。（保証書に詳細を記載してありますので、そちらをご覧ください。）

このバスルームを廃棄処分される場合は、許可を受けている処理業者に処理を依頼してください。

●万一の際は……

故障や異常がありましたら、最寄りの
日立化成工業㈱の営業所またはサービ
ス代理店まで、ご連絡ください。
さつそく修理点検におうかがいします。

※お取り扱い、又はお手入れが適当で
ないために生じた補修及び部品交換
などは有償となりますのでご了承ください。

日立化成工業株式会社

住 機 環 境 事 業 部	〒163-04 東京都新宿区西新宿2-1-1(新宿三井ビル)	☎ (03)5381-3100
住機環境事業部営業本部	〒163-04 東京都新宿区西新宿2-1-1(新宿三井ビル)	☎ (03)5381-3560
新 潟 出 張 所	〒950 新潟市鑑1-16-20	☎ (025)245-6185
千 葉 出 張 所	〒284 四街道市和良比長作275	☎ (043)433-1892
札 幌 営 業 所	〒060 札幌市中央区南一条西6-15-1(札幌日産生命ビル)	☎ (011)261-1401
東北住機環境営業所	〒983 仙台市若林区卸町3-1-7	☎ (022)237-1621
茨城住機環境営業所	〒310 水戸市見和1-336-6	☎ (0292)31-3191
北関東住機環境営業所	〒330 大宮市宮原町2-125-11	☎ (048)668-3741
中部住機環境営業所	〒481 愛知県西春日井郡西春日町大字徳重字御宮前62	☎ (0568)25-7141
静 岡 出 張 所	〒422 静岡市敷地2-26-28	☎ (054)238-3226
北 陸 出 張 所	〒920 金沢市二宮町140街区17	☎ (0762)22-0343
大阪住機環境営業所	〒541 大阪市中央区北浜3-5-29(日生日立ビル)	☎ (06) 203-1639
中四国住機環境営業所	〒732 広島市東区矢賀新町4-1-27	☎ (082)287-3822
四 国 出 張 所	〒761-01 高松市屋島西町字百石1981	☎ (0878)43-2931
九州住機環境営業所	〒815 福岡市南区清水1-23-11	☎ (092)562-1330

●日立化成リビングセンター（住まいのショールーム）

(札 幌)	〒060 札幌市中央区南一条西6-15-1(札幌日産生命ビル2F)	☎ (011)261-1401
(秋 田)	〒010 秋田市山王沼田町2-8	☎ (0188)64-4631
(山 形)	〒990 山形市春日町9-37	☎ (0236)44-9222
(仙 台)	〒983 仙台市宮城野区日の出町2-1-21	☎ (022)238-2898
(郡 山)	〒963 郡山市桑野4-5-9	☎ (0249)33-6449
(水 戸)	〒316 水戸市見和1-336-6	☎ (0292)27-1011
(下 館)	〒308 下館市大字下江連1250(日立化成結城工場総合システム展示場)	☎ (0296)28-2111
(大 宮)	〒359 大宮市宮原町2-125-11	☎ (048)665-1514
(東 京)	〒101 東京都千代田区内神田町1-1-14(日立鎌倉橋別館内)	☎ (03)3291-4805
(横 浜)	〒220 横浜市西区北幸2-6-26(HI横浜ビル)	☎ (045)314-8886
(甲 府)	〒400-01 山梨県中巨摩郡竜王町玉川1433	☎ (0552)76-2012
(長 野)	〒380 長野市大字高田藤倉1505-1	☎ (0262)27-0340
(新 潟)	〒950 新潟市鑑1-16-20	☎ (025)243-3771
(長 岡)	〒940-21 長岡市喜多町389-1	☎ (0258)28-0455
(金 沢)	〒920 金沢市二宮町140街区17	☎ (0762)31-1651
(富 山)	〒939 富山市黒崎字寺田割111-1	☎ (0764)93-1100
(福 井)	〒910 福井市和田東1-608	☎ (0776)25-6369
(静 岡)	〒422 静岡市敷地2-26-28	☎ (054)237-9177
(名古屋)	〒481 愛知県西春日井郡西春日町大字徳重字御宮前62	☎ (0568)25-3071
(豊 橋)	〒440 豊橋市筑口町5-88	☎ (0532)31-6711
(岐 阜)	〒500 岐阜市宇佐南2-3-8	☎ (0582)72-7521
(大 阪)	〒567 大阪府茨城市美穂ヶ丘5番3号	☎ (0726)21-4590
(神 戸)	〒658 神戸市東灘区御影石町1-6-34	☎ (078)856-9701
(姫 路)	〒672 姫路市飾磨区中野田2-65	☎ (0792)35-6165
(松 山)	〒790 松山市余戸南2-14-9	☎ (0899)71-3411
(岡 山)	〒700 岡山市西市301	☎ (086)241-3161
(広 島)	〒732 広島市東区矢賀新町4-1-27	☎ (082)285-4913
(松 江)	〒690 松江市西川津町1592	☎ (0852)21-9980
(福 岡)	〒810 福岡市南区清水1-23-11	☎ (092)542-1521

ご連絡先